

\*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

\*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

<b>可変 グランド エフェクター</b> <b>GROUND EFFECTOR FORCE4</b>	適応車種	商品 NO.
	マツダ RX - 8 (SE3P)専用	5 1 3 4 3

この度はディーキャトロ「可変グランドエフェクター」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
御使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。  
なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店に御相談下さい。

## 特徴

- 車両のベストポイント位置にダウンフォースを発生させる事で、走行安定性、コントロール性が向上。
- ウイング部のフラップ角度を室内から調整することでダウンフォース量を可変、色々な路面変化、天候変化に即時対応。
- フラップ角度は、地面と水平な角度0度から約90度まで無段階でモーターにより可動。コントロール部分には、LEDの点灯によりフラップ角度をモニター出来、ドライバーが任意に操作出来る構造。
- タイヤ本来の能力を限界まで発揮。イメージ通りのライントレース、トラクションコントロールを実現。
- 高速走行時等の車両のフワツキ感を、強力なダウンフォースにより一気に解消。更にショックの減衰力をワンランク上げたフットワークフィールにチェンジ。
- ウイング部分には、腐食に強いステンレス製ウイングに、耐火性、柔軟性に優れた、赤色のフラップEVA材を使用。
- 駆動部のケースは、対衝撃性、耐腐食性に優れたPP材、メインの駆動部取付部材は、ステンレスを使用。
- ワイヤークーブルは、伸び防止と腐食に強いステンレス製を使用。中間ターンバックルでアウターの調整可。

## 《主要商品内容》

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	ウイングCOMP(R/L)		1		ワイヤークーブルASSY	2209×1985	2
	ウイング取付パーツSET		1		中継ハーネス 4m	9P×4000	1
	駆動部ユニットASSY	104×232×44	1		フィッティングパーツSET		1
	駆動部取付パーツSET		1		コントロールBOXSET	98×30×70	1
	駆動部ガスケットSET		1				

## 主要商品構成部品

### ウイングCOMP(R/L)

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	ウイングブラケット(R/L)		1		可動ブラケットカラー	13× 5.2×4.5	4
	ウイングフラップ(R/L)	298×39 EVA95°	1		ケーブルブラケットカラー	13× 5.2×3.0	2
	フラップブラケット(R/L)	298×16×4.5	1		ワッシャー	16× 5.2×1.5	1 6
	ケーブルブラケット	68×60×24×3.2t	2		十字穴付トラス小ネジM5	M5×20×P0.8	4
	可動ブラケット	32×35×2.0t	2		十字穴付トラス小ネジM5	M5×12×P0.8	1 4
	スプリング蝶番	51×38	4		六角Uナット M5	M5×P0.8	1 8

### ウイング取付パーツSET

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	フロント側ブラケット	115×20×6.0t	2		六角穴付ボタンネジ M8	M8×15×P1.25	4
	リア側ブラケット	50×15×50	2		六角ナット(フランジ付)M8	M8×P1.25	2
	リヤスペーサー	22× 8.5×33.5	2		平ワッシャー M8	21	4

### 駆動部ユニットASSY

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	駆動ユニット		1		駆動ユニットハーネス		1
	センサー基盤ASSY		1		駆動ユニットケース	104×232×44	1

**駆動部取付パーツ S E T**

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	車輛取付ブラケット		1		六角穴付ボタンネジ M 8	M8 × 15 × P1.25	2
	駆動部フロント側ブラケット	125 × 49 × 24	1		六角ナット(フランジ付) M 8	M8 × P1.25	4
	駆動部リヤ側ブラケット	65 × 58 × 24	1		平ワッシャー M 8	21	8
	カラー(グロメット)	12.7 × 1.6t × 8	2		十字穴付トラス小ネジ M 4	M4 × 10 × P0.7	8
	グロメット	27 × 12.7 × 8	2		六角ナット M 4	M4 × P0.7	8
	六角ボルト M 8	M8 × 25 × P1.25	2		平ワッシャー M 4		8
	ばね座金 M 8		2				

**駆動部ガスケット S E T**

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	駆動ケース側ガスケット	104 × 232 × 2.0t	1		ケーブル側ガスケット	21 × 8.2 × 2.0t	2

**ワイヤーケーブル A S S Y**

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	ワイヤーケーブル C O M P	2209 × 1985	2		六角ナット(フランジ付) M 8	M8 × P1.25	2
	E型止輪(Eリング) 7	7	2		六角ナット M 6	M6 × P1.0	4

**フィッティングパーツ S E T**

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	両面テープ	85 × 50 × 0.4t	1		耐候性結束バンド(黒)	200 × 4.8	7
	断熱ホース	10 × 400	2		ばね座金組込六角ボルト M 6	M6 × 20 × P1.0	1
	スポンジテープ片面	40 × 100 × 2.0t	2		六角ナット M 6	M6 × P1.0	1
	ケーブルホルダー 3脚		7		平ワッシャー M 6	21	2
	ケーブルホルダー M 6		2		平ワッシャー M 6	18	1

**コントロール B O X S E T**

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
	コントロール B O X	98 × 30 × 70	1		シガライター電源ケーブル	1000	2

**補修品の設定**

構成部品	部品ナンバー	補修部品名	数量	価格(税抜き)
-	5 1 3 8 0	ウイングフラップ汎用	1	8 0 0 円
-	5 1 3 8 1	ウイング可動ブラケット汎用	1	3 5 0 円
-	5 1 3 8 2	ウイングスプリング蝶番汎用	1	7 0 0 円
	5 1 3 8 3	駆動ユニット A S S Y 汎用	1	3 2 , 0 0 0 円
	5 1 3 8 4	駆動部ガスケット S E T 汎用	1	1 , 0 0 0 円
	5 1 3 8 5	中継ハーネス 4 m	1	3 , 0 0 0 円
	5 1 3 8 6	コントロール B O X S E T 汎用	1	2 0 , 0 0 0 円

**トラブルシューティング****不具合現象**

- ウイング部分が地面と接触してしまった際等、左右均等にフラップが稼動しない。
- フラップの稼動が、以前より遅くなった。駆動モーターは、作動するが、フラップが動かなくなってしまった。
- 駆動ユニットのケースが壊れた。駆動モーターが作動しなくなった。
- 配線を間違えて繋いでしまった。LEDが点灯しない。

**点検手順**

- 左右均等にフラップが稼動しない場合、ワイヤーケーブルアウターの調整不良か、ウイング可動ブラケットの曲がりか考えられます。
  - ウイング可動ブラケットを調整若しくは、交換をして均等に稼動できるように修正して下さい。
- フラップが遅くなった場合、若しくは、動かなくなった場合は、モーターの作動状況を確認します。一度、ウイング部分を車輛より取り外しケーブルを外し、ウイング C O M P ( R / L ) 単体でフラップの稼働状況を確認し、動きが硬い様ならば
  - ウイングスプリング蝶番を交換、修正して下さい。
- 2.で確認してモーターが作動しない場合は、
  - コントロール B O X の LED ( 緑色 ) が点灯している事を確認し、スイッチを作動させた際、モーター部分へ電圧が来ているか確認をして下さい。電圧が来っていない場合は、
    - コントロール B O X 以降の配線ショートの可能性があり。中継ハーネスの修正若しくは、駆動ユニットの交換をして下さい。
- 3.で確認をした結果、
  - コントロール B O X の LED ( 緑色 ) が点灯していない場合は、
    - シガライター電源のヒューズが切れている可能性があります。
      - シガライター電源のヒューズを確認して下さい。ヒューズに問題ない場合、
        - コントロール B O X 内のショート、
          - シガライター電源ケーブルのショートが考えられます。
            - シガライター電源ケーブルのショートの場合は、修正、交換、
              - コントロール B O X 内のショートの場合は、コントロール B O X S E T の交換をして下さい。

その他、不具合の場合は、弊社までご連絡願います。

## [ 使用上の注意事項 ]

\* 間違った取り付けや不注意な行為は重大な事故につながります。また、保証の対象外となりますので充分御注意下さい。

### 注意

- ・ この商品企画は、デイトナで発明された商品企画で特許出願中です。
- ・ この商品は、記載されている適応車種以外の車種には使用できません。
- ・ 運転(走行)中の操作は、大変危険ですので行わない様にして下さい。もし操作を行う場合は、走行中視線の入る位置に予めコントロールBOXを装着するか、若しくは、助手席の方が操作する様にして下さい。
- ・ 車両によりウイングCOMPが、フロントタイヤに近い場合があります。その際タイヤチェーン等干渉する恐れがあります。その際は、使用を控えて下さい。
- ・ 車両をジャッキアップの際は、必ず現車両の指定されたポイントにジャッキをかけて下さい。ウイングCOMP全体が破損する恐れがあります。
- ・ 立体駐車場等、若干轍になっている箇所については、フラップ部を水平に戻してから進入する様にして下さい。ウイングCOMP全体が破損する恐れがあります。
- ・ 冬季、悪路について、道路に轍が出来る場合は、フラップ角度を控えるか、水平に戻して走行してください。轍の高さによっては、ウイングCOMP全体が破損する恐れがあります。十分注意して走行して下さい。
- ・ コントロールBOXは、急ブレーキ等で乗員が怪我をしない様な安全な場所を選んで取り付けして下さい。
- ・ 車両最低地上高について社外のローダウンスプリング等が装着されている場合、保安基準に抵触する恐れがあります。最低地上高を確認の上、装着使用して下さい。
- ・ 走行安定性が向上する為、普段よりも無意識の内に速度が上がることがありますが、無理な運転は絶対にしないで下さい。常にドライビングマナーを守り、法規遵守、安全運転に心掛けて下さい。
- ・ 塩分や、湿気が多い場所での保管や放置は、腐食や劣化の原因となります。走行後は、塩分等を必ず取り除いて下さい。また、ワイヤーケーブルのインナーケーブル、蝶番部は、頻繁に注油する様、お願い致します。
- ・ シャシー関係の部品については、錆などでボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするボルトが折れたり、ナットをなめることがありますので、潤滑油等を使って、適正な工具で無理のないよう作業して下さい。また、特に手の怪我を防ぐために耐熱性手袋などを使い、作業して下さい。
- ・ 車両床下部分に強化バー等、社外商品がついている場合又は、床下部分に加工を施している場合、同時装着できない場合があります。予めご了承下さい。
- ・ ダウンフォース発生により燃料消費量が若干増加し、又タイヤの消耗が早まる恐れがあります。予めご了承下さい。
- ・ この商品は、予告なしに仕様や価格の変更をすることがあります。予めご了承下さい

## [ 取り付け時の警告及び注意事項 ]

\* グランドエフェクターの装着は、車両下での作業が多いためジャッキアップした車両が不安定ですと大変危険です。又、専門外の方が作業をすることは、大変危険ですから絶対にしないで下さい。専門の整備士の方でも、サービスマニュアル(整備書)を充分理解した上で、慎重に作業を行って下さい。

### 要点

作業には、車両専用の2柱または4柱リフトを使用して下さい。やむを得ずガレージジャッキを使う場合は、地面の沈まない固く水平な場所でリジッドラック(通称うま)を併用して下さい。

### 警告

車載ジャッキのみでの作業は絶対にしないで下さい。確実なジャッキアップが難しく、ジャッキが外れた場合、大怪我を負ったり、死亡する危険があります。

### 注意

この商品は、薄板を使用しております。取り付けに関して素手でなるべく触らない様をお願い致します。端部等で手等を切る恐れがあります。必ず作業用手袋をして作業して下さい。又、マフラーの近い所で作業をする際は、マフラーが冷えた事を確認してから作業を行って下さい。火傷の原因となります。十分注意して下さい。

## 取り付け前準備

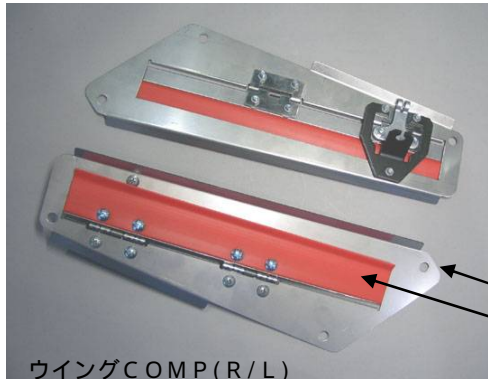
- 主要商品内容、構成部品が全てそろっているか確認して下さい。尚、ウイングCOMP(R/L)、ワイヤーケーブルASSYは、仮組みされて梱包されております。構成部品が無い場合は、弊社までご連絡願います。
- 動部ユニットASSYについては、組み付け状態ですので分解しない様にして下さい。 - コントロールBOXも同様をお願い致します。
- 組み付け前に装着予定の車両状態を確認して下さい。社外の強化メンバー、マフラー等は、同時装着出来ない場合があります。また、下廻りが損傷している車両も、装着出来ない場合がありますので必ず装着前に確認をして下さい。

## 取り付け手順

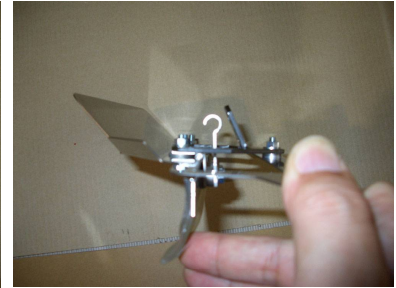
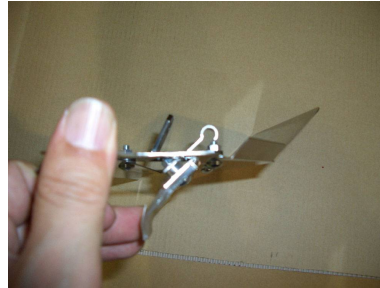
### 《ボディ床下編》

( ウイングCOMP、 ウイング取付パーツSET、 駆動部ユニットASSY、 駆動部取付パーツSET、 駆動部ガスケットSET、 ワイヤークーブルASSY、 フィッティングパーツSET )

1. ウイングCOMP (R/L)は、仮組み状態ですので、
  - 十字穴付トラス小ネジ(M5×20)、
  - 十字穴付トラス小ネジ(M5×20)、
  - 六角Uナット(M5)を締め付けます。その際、
  - ウイングフラップが、
  - ウイングブラケットに上手く収まる様に、また、可動した際、傾かない様に調整して下さい。

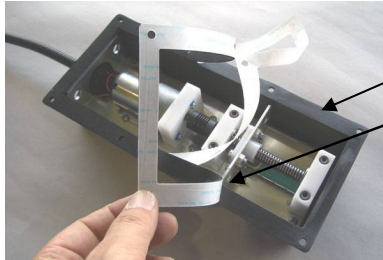


ウイングCOMP (R/L)

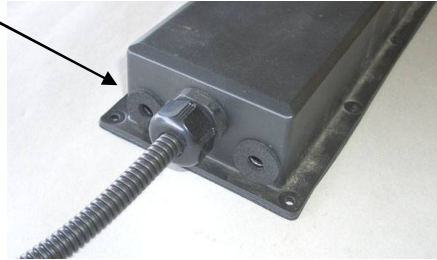


- ウイングブラケット
- ウイングフラップ

2. 駆動部ユニットASSYに 駆動部ガスケットSETを貼り付けます。貼り付けは、図を参照願います。



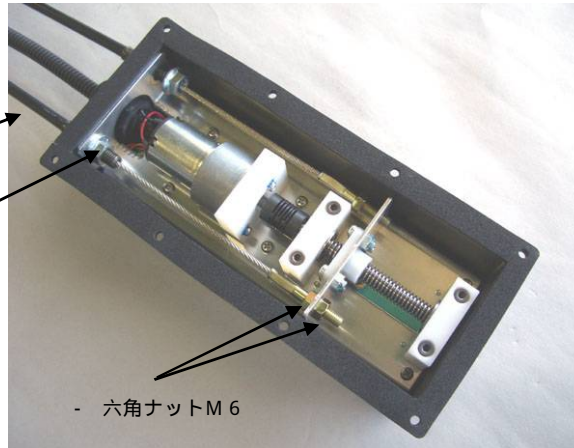
- ケーブル側ガスケット
- 駆動部ユニットASSY
- 駆動ケース側ガスケット



3. 2.でガスケットを貼り付けた 駆動部ユニットASSYに ワイヤークーブルASSYを組み付けます。その際、予め、ワイヤークーブルASSYの
  - 六角ナットM8、
  - 六角ナットM6を外しておいて下さい。図を参照願います。

ワイヤークーブルASSY

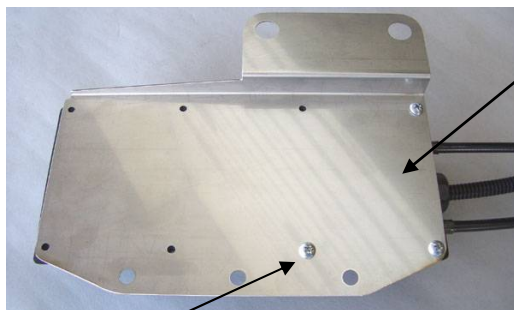
- 六角ナットM8



- 六角ナットM6

4. 3.で組み付けた 駆動部ユニットASSYを
  - 駆動部取付ブラケットに
  - 十字穴付トラス小ネジ(M4×10)、
  - 六角ナット(M4)、
  - 平ワッシャー(M4)にて組み付けます。図を参照願います。

**注意：** ワイヤークーブルASSYの出る方向、 駆動部ユニットASSYの上下の向きに注意して下さい。



- 駆動部取付ブラケット

駆動部ユニットASSY

- 十字穴付トラス小ネジ(M4×10)

車輛取付状

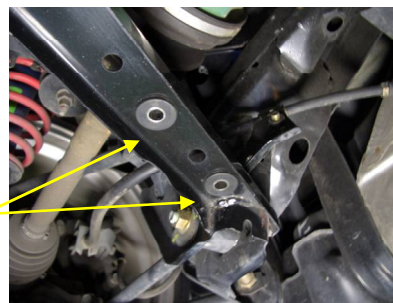


5. 車輛を2柱リフト又は、4柱リフトにてリフトアップします。(ドアが全開に出来る状態のリフトで行ってください。)
6. 車輛リヤメンバー左側、サービスホールに - グロメットをはめ込み、 - カラー(グロメット)を - グロメットの穴部分に挿入します。図を参照願います。

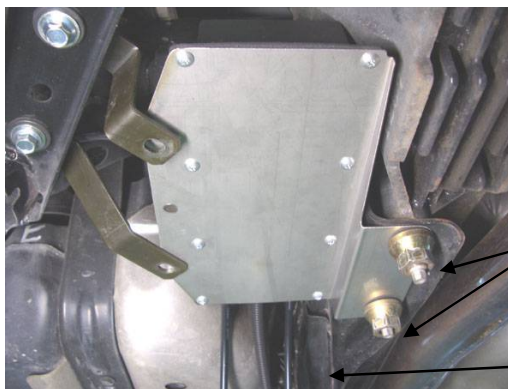


車輛リヤメンバー左側、サービスホール

- グロメット
- カラー(グロメット)



7. 車輛センターフレーム後部の純正六角ナット(M14)を取り外し、4.で組み付けた、 - 駆動部取付ブラケットをボルト部分に差込み、純正六角ナットで仮組みします。



進行方向

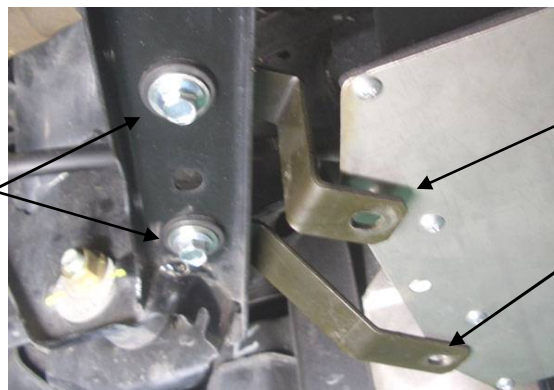


純正六角ナット(M14)

車輛センターフレーム後部

8. - 駆動部フロント側ブラケット、 - 駆動部リヤ側ブラケットを、5.で組み付けた、 - グロメットに - 六角ボルト(M8×25)、 - ばね座金(M8)、 - 平ワッシャー(M8)の順で下側から挿入し、 - 六角ナット(M8)にて組み付けます。図を参照願います。

注意： - 駆動部フロント側ブラケット、 - 駆動部リヤ側ブラケットは、上下方向があります(刻印UP)のので注意願います。また、取付位置も - 駆動部フロント側ブラケット、 - 駆動部リヤ側ブラケットの下側部分が、 - 駆動部取付ブラケットより下側にしておいて下さい。

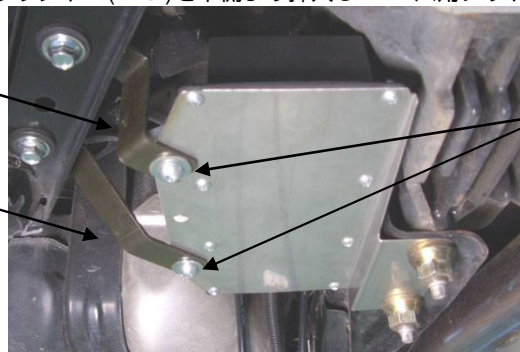


- 六角ボルト(M8×25)
- ばね座金(M8)
- 平ワッシャー(M8)

- 駆動部リヤ側ブラケット

- 駆動部フロント側ブラケット

9. - 駆動部フロント側ブラケット、 - 駆動部リヤ側ブラケットを - 駆動部取付ブラケットに - 六角穴付ボタンネジ(M8×15)、 - 平ワッシャー(M8)を下側より挿入し - 六角ナット(M8)にて組み付けます。



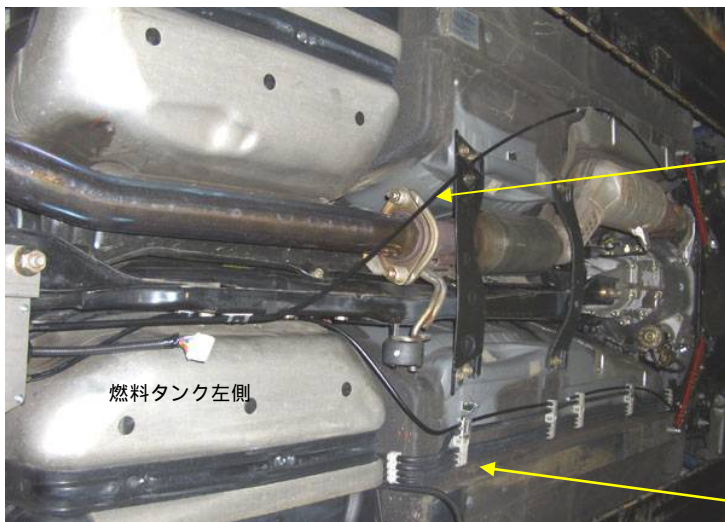
- 駆動部リヤ側ブラケット

- 駆動部フロント側ブラケット

- 六角穴付ボタンネジ(M8×15)
- 平ワッシャー(M8)

10. - 六角ボルト(M8×25)、 - 六角ナット、 - 六角穴付ボタンネジ(M8×15)を規定トルク25.0~30.0N・m程度で締め付けます。また、純正六角ナット(M14)を規定トルク120.0~130.0N・m程度で締め付けます。

11. ワイヤークーブルA S S Yを車輛前方へ伸ばしておきます。その際、図の様に取り回しておくこと、効率良く作業が行えます。また、ワイヤークーブルA S S Yに組み付けてある - E型止輪(Eリング) 7を外しておきます。  
**注意：** - E型止輪(Eリング) 7を外す際、小さい部品ですので紛失しない様に管理して下さい。



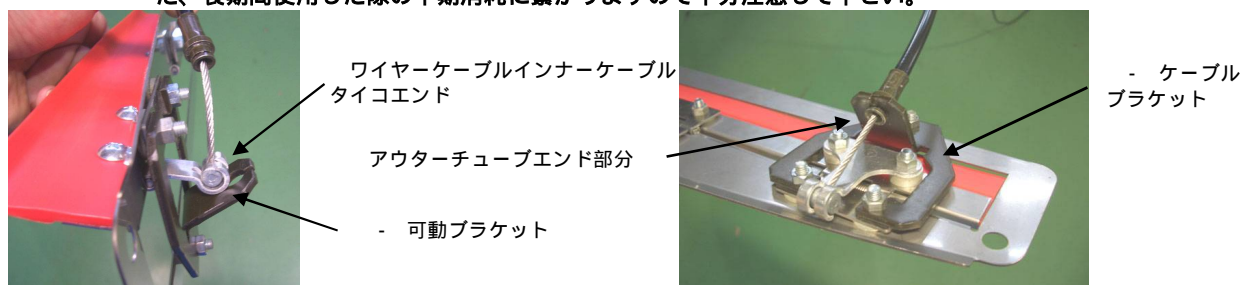
ワイヤークーブルA S S Y右側  
補強メンバー下側を取り回し、マフラー遮熱板後方に引っ掛ける取り回しをする。

進行方向

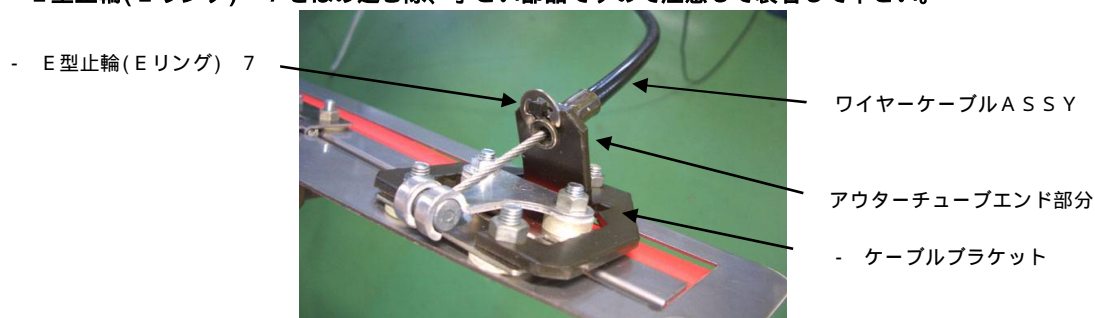


ワイヤークーブルA S S Y左側  
左サイドパイピングホルダーに這わせる。

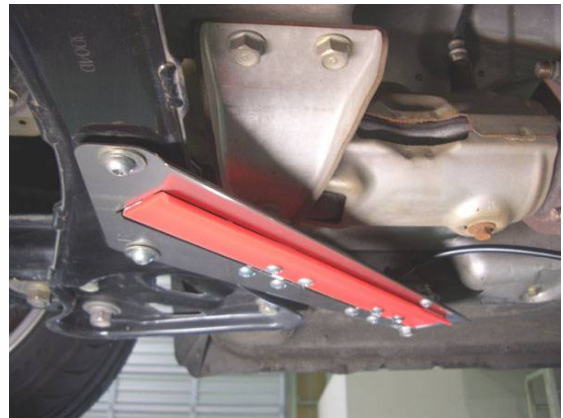
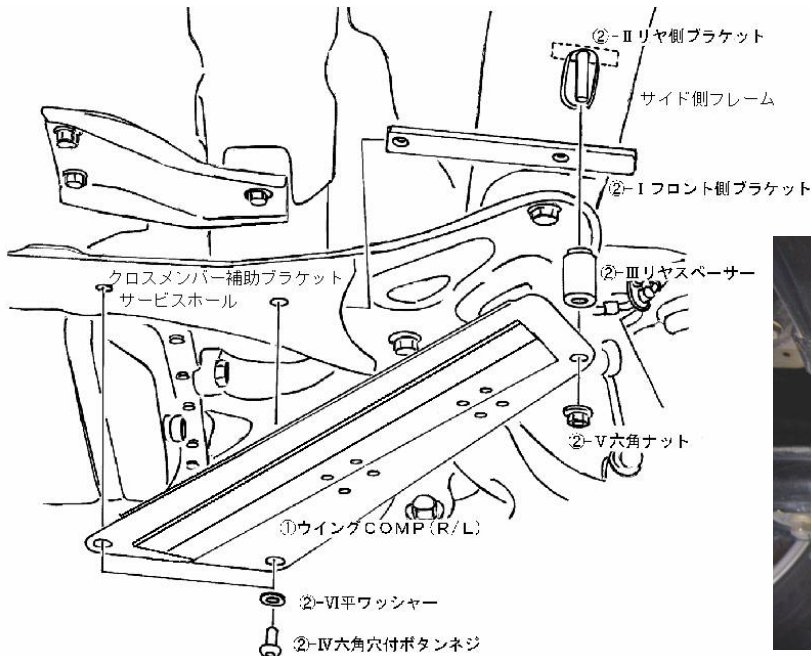
12. ウイングCOMP(R/L)の - 可動ブラケット部分に ワイヤークーブルA S S Yインナーケーブル先端部分を(タイコエンド)をはめ込み、アウターチューブエンド部分を - ケーブルブラケットに差し込みます。  
**注意：**インナーケーブルを組み付けの際、ウイングCOMP(R/L)を車輛へ装着した状態を想定してタイコエンドを組み付けて下さい。無理をして装着しますと、ケーブルに負担がかかり、作動時の抵抗となります。また、長期間使用した際の早期消耗に繋がりますので十分注意して下さい。



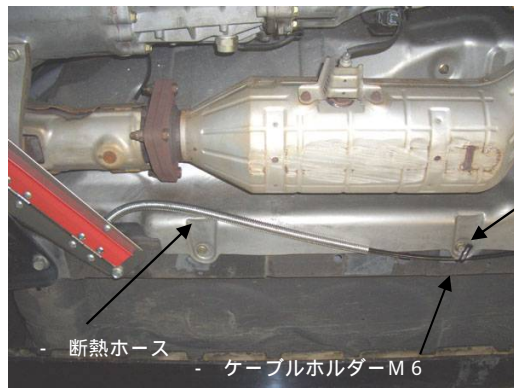
13. 11.で取り外した - E型止輪(Eリング) 7を ワイヤークーブルA S S Yアウターチューブエンド部分スリットにはめ込み、 - ケーブルブラケットと ワイヤークーブルA S S Yが外れない様にします。  
**注意：** - E型止輪(Eリング) 7をはめ込む際、小さい部品ですので注意して装着して下さい。



14. フロント側クロスメンバー補強ブラケット(エンジン側)に ウイング取付パーツの - フロント側ブラケットをメンバー補強ブラケットの中に差し込み、 - フロント側ブラケットのネジ部分が、サービスホールから見えるように調整しておきます。(次ページ図参照)
15. 車輛サイド側フレームのゴムキャップを外し、 - リヤ側ブラケットを長穴に図の様にに入れておきます。
16. DCUATRO の刻印が車両後方外側になる様に ウイングCOMP(R/L)をフロント側クロスメンバー補強ブラケットへ - フロント側ブラケットをかえして - 六角穴付ボタンネジ、 - 平ワッシャーにて仮組します。
17. - リヤスペーサーを - リヤ側ブラケットのネジ部に突起のある側を上にして差し込みます。その際、 - リヤスペーサーを後方に抑えながら ウイングCOMP(R/L)に - リヤ側ブラケットのネジ部を入れて - 六角ナットにて固定します。組み付ける際、 - リヤ側ブラケットのステー部分が車輛に対して縦方向になら無い様に、指で抑えながら固定して下さい。
18. - 六角ナット、 - 六角穴付ボタンネジを規定トルク25.0 ~ 30.0 N・m程度で締め付けます。
19. 左右の位置ズレが無いか確認し、増し締めをします。

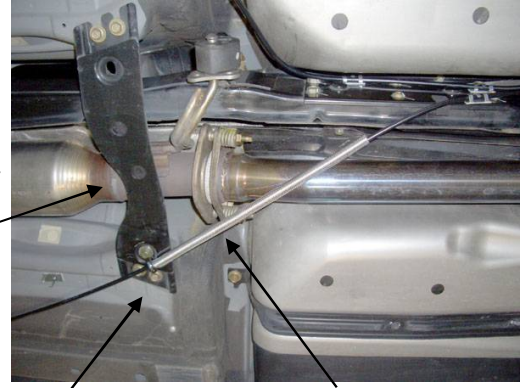


20. ワイヤークーブルA S S Yのフィッティングを行います。右側(運転席側)は、 フィッティングパーツS E T内の
- 断熱ホースを2箇所、前方側とメインパイプ後方に装着致します。また、同時に、触媒サイド(車体外側)遮熱板の純正六角ボルト(M 6)を取り外し、間に
  - ケーブルホルダーM 6をボディと遮熱板の間で挟み純正六角ボルトで締め付けます。また、後方側補強メンバーのサービスホールを使用して、
  - ケーブルホルダーM 6へ
  - ばね座金組込六角ボルトM 6を差込、
  - 平ワッシャー( 21)を後方側補強メンバーのサービスホールの中に入れ、上方より
  - 平ワッシャー( 18)、
  - 六角ナットにて締め付けます。また、マフラーの下側を通る部分に
  - 断熱ホースが来るよう調整します。
- 遮熱板横の
- ケーブルホルダーM 6を、
  - ワイヤークーブルA S S Yに合わせ、巻き込みます。後方側、
  - ケーブルホルダーM 6は、
  - 断熱ホースと共に、巻き込みます。
- 注意：ワッシャーは、外径が、大きい方が下側で、小さい方が上部となります。上部が大きいと装着できません。**



遮熱板の純正六角ボルト  
後方側補強メンバー

←  
進行方向



- ケーブルホルダーM 6 - 断熱ホース

21. 対称で左側は、ボディ側純正パイプクランプに ワイヤークーブルA S S Yを這わせ、最後のクランプ部分に
- 結束バンドで固定致します。その後、
  - ワイヤークーブルA S S Yを、燃料タンクと車輻センターフレームの間を通します。その際、
  - ワイヤークーブルA S S Yの左側は、右側に対して上を通る様にして下さい。



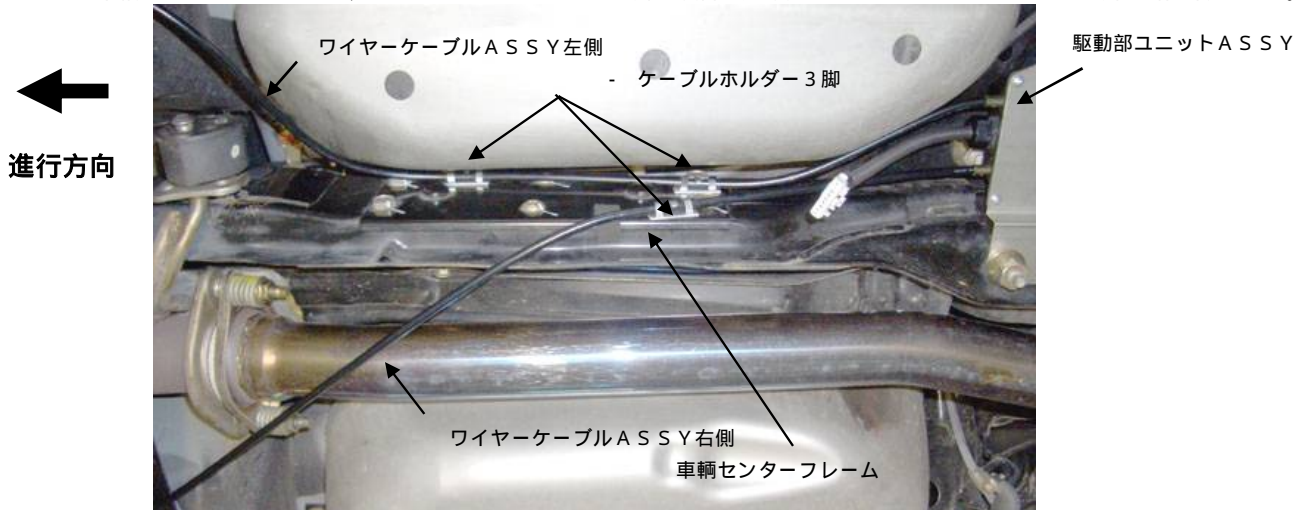
→  
進行方向



ボディ側純正パイプクランプ

22. 車輻センターフレームに、
- ケーブルホルダー3脚を貼り付ける為に脱脂をしておきます。

23. 車輻センターフレームに、 - ケーブルホルダー3脚の剥離紙を剥がし - ケーブルホルダー3脚を貼り付けます。



24. リヤシート座面部分を手前より持ち上げ取り外し、燃料タンク整備用蓋の純正ネジ4本を取り外し整備用蓋を取り外します。



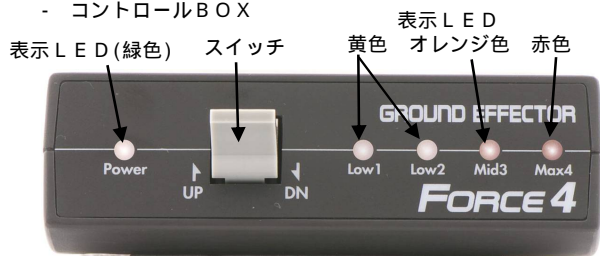
25. 中継ハーネス4m(防水カプラー側 白色)を室内(燃料タンクサービスホール)より室外へ通し、 駆動ユニットASSYのカプラーに繋がります。

26. 中継ハーネス4m(室内側 黒色)を、 - コントロールBOXのカプラー(黒色)に繋ぎ、更に付属の - シガライター電源ハーネスのカプラー(白色)を - コントロールBOXのカプラーに繋がります。

27. 車輻シガライターに - シガライターソケット部分を差し込みます。

28. 車輻イグニッションキーを、アクセサリ(ACC)まで回し、 - コントロールBOXの表示LED(緑色)が点灯している事を確認します。(初期の設定で、その他のLEDが点灯する場合があります。予め、ご了承願います。)

- コントロールBOX



**スイッチ操作方法**

- スイッチを引上げるとウイングフラップが上がります。(閉)
- スイッチを押し下げるとウイングフラップ下がります。(開)

**各表示LEDについて(オーバーラップ有り、参照値)**

- 緑色 電源表示及び、ウイングフラップが閉じている状態。
- 黄色(Low1) ウイングフラップ角度が4° ~ 26°
- 黄色(Low2) ウイングフラップ角度が23° ~ 60°
- 橙色(Mid3) ウイングフラップ角度が50° ~ 85°
- 赤色(Max4) ウイングフラップ角度が80° ~ 90°

29. - コントロールBOXのスイッチを上下させ、表示LEDが全点灯(緑色、黄色×2、オレンジ色、赤色)、緑色以外消灯することを確認します。

30. - コントロールBOXの表示LEDを緑色だけ点灯させた状態にします。(スイッチ、アップ方向)

31. 30.の状態、ウイングCOMP(R/L)の - ウイングフラップが、閉じている状態に、ワイヤークーブルASSYのセンター部分にあるアウターチューブ調整ねじを回して調整します。(次ページ参照)

表示LED(緑色)点灯

表示LED消灯



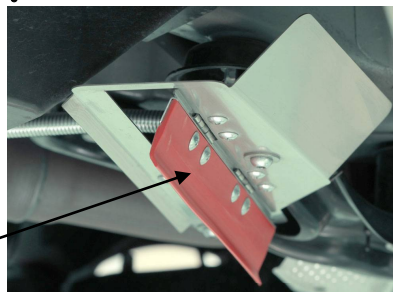
- コントロールBOX

- ウイングフラップ





32. 調整が終わりましたら、 - コントロールBOXの表示LEDを全点灯させた状態にします。(スイッチ、ダウン方向)
33. 32.の状態、ウイングCOMP(R/L)の - ウイングフラップが、全開状態になりますが、左右の調整がありますので傾き(開き具合)を均等にするようにワイヤーケーブルの OUTERチューブ調整ねじを回して調整します。  
**注意:** - ウイングフラップ全開状態は、センサーのバラつきによりフラップ角度80°~90°の範囲で全開状態となります。左右の角度を均一になる様に調整して下さい。



- コントロールBOX

- ウイングフラップ  
 フラップ全開時、センサーのバラつきでフラップ角度80°~90°の範囲で調整して下さい。

34. - コントロールBOXのスイッチを上下させ各表示LEDが点灯した際に、 - ウイングフラップの角度が左右均等であることを確認します。

- コントロールBOX

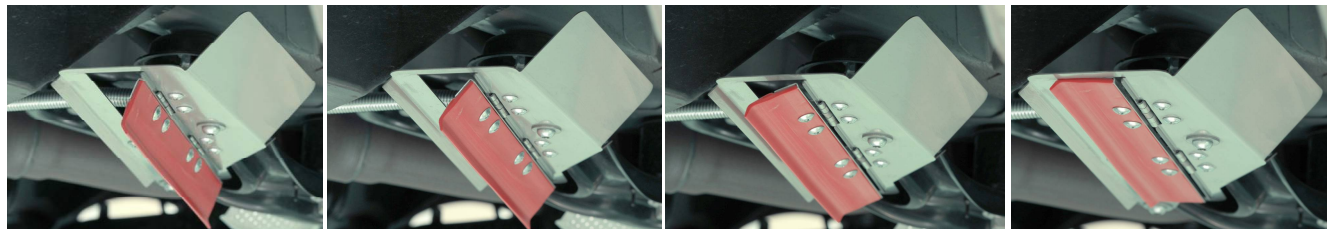


表示LED全点灯

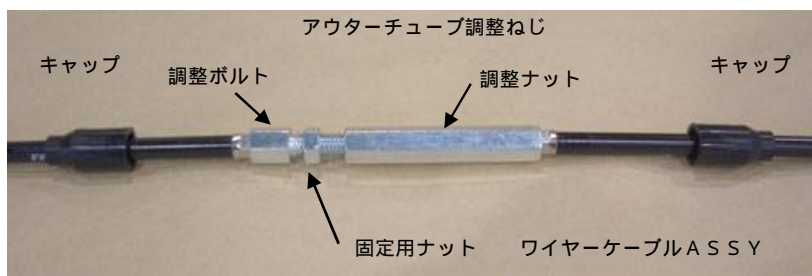
表示LED黄色(Low2) or 橙色(Mid3)

表示LED黄色(Low1)

表示LED緑色のみ



35. ワイヤーケーブルの OUTERチューブ調整ねじを固定するようにナットで締め付けます。



36. 室外のワイヤーケーブルASSY、中継ハーネス4mを - ケーブルホルダー3脚、 - 結束バンドで動かない様に固定します。

**注意:** ワイヤーケーブルASSY、中継ハーネス4mが、プロペラシャフトの回転部分、マフラー等に接触しないように注意して固定して下さい。

37. 車輻イグニッションキーを、オフ(OFF)に戻し、 - コントロールBOX、 - シガライター電源ハーネスを中継ハーネス4mより外します。

38. - コントロールBOXの装着位置を決め、 - 両面テープを - コントロールBOXに貼り付けます。

39. 室内 - コントロールBOX取付位置を脱脂しておき、 - コントロールBOXを - 両面テープで固定します。

**注意:** 貼り付け後は、24時間動かさない様にして下さい。走行中剥がれる恐れがあります。

40. 中継ハーネス4mを車輻室内に這わせ、 - コントロールBOXのカブラーに繋がります。

41. - シガライター電源ハーネスを - コントロールBOXのカブラーに繋がります。

42. 各配線を - 結束バンドで固定します。

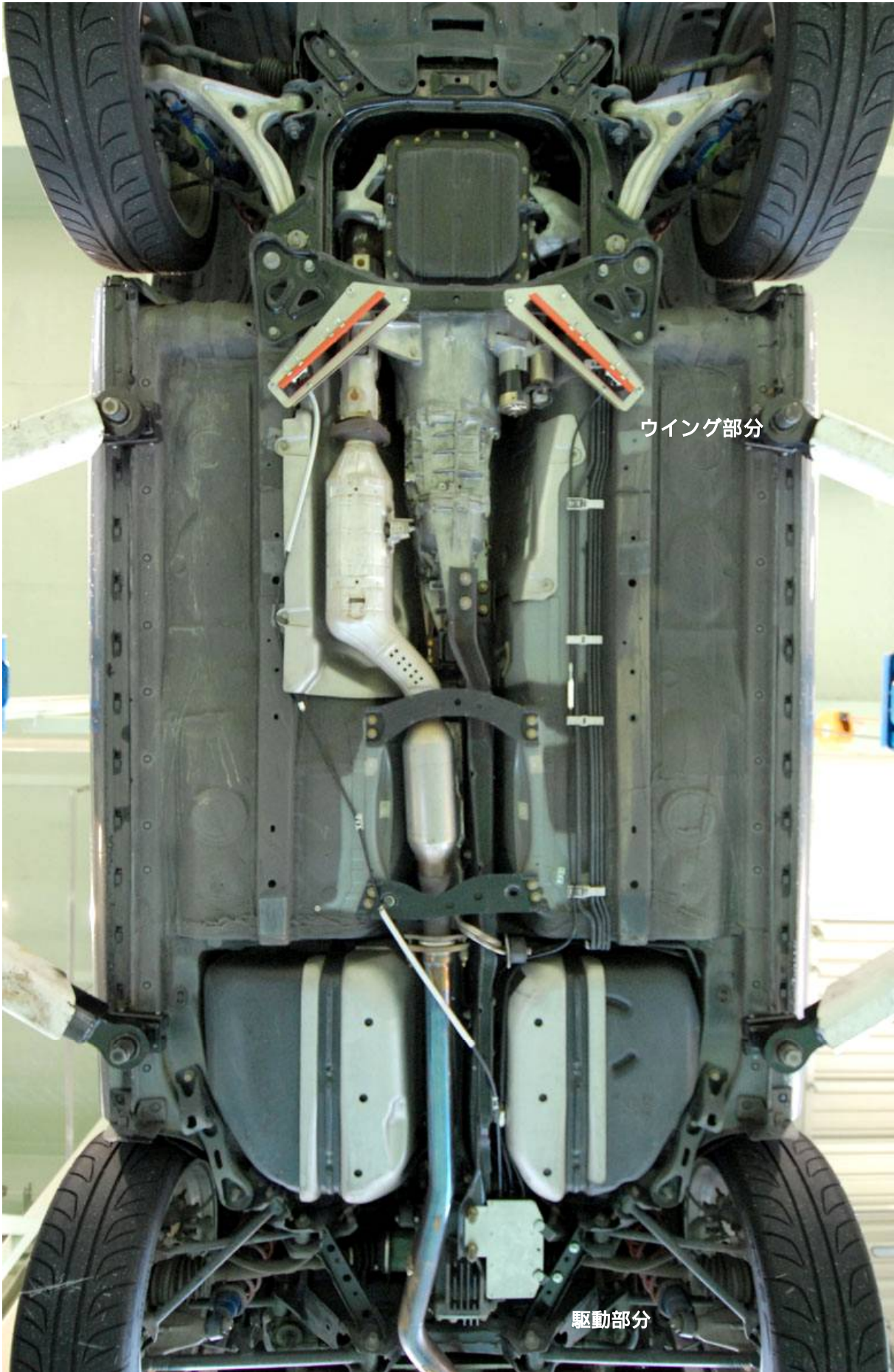
43. 車輻から配線の為に取り外した部品を元通り組み付けます。(リヤシート座面部、燃料タンク整備用蓋等)

44. 再度、車輻イグニッションキーを、アクセサリ(ACC)まで回し、動作確認を行います。

45. 動作確認をして正常に作動することを確認できましたら、各ボルト類を増締めして作業は、完了です。

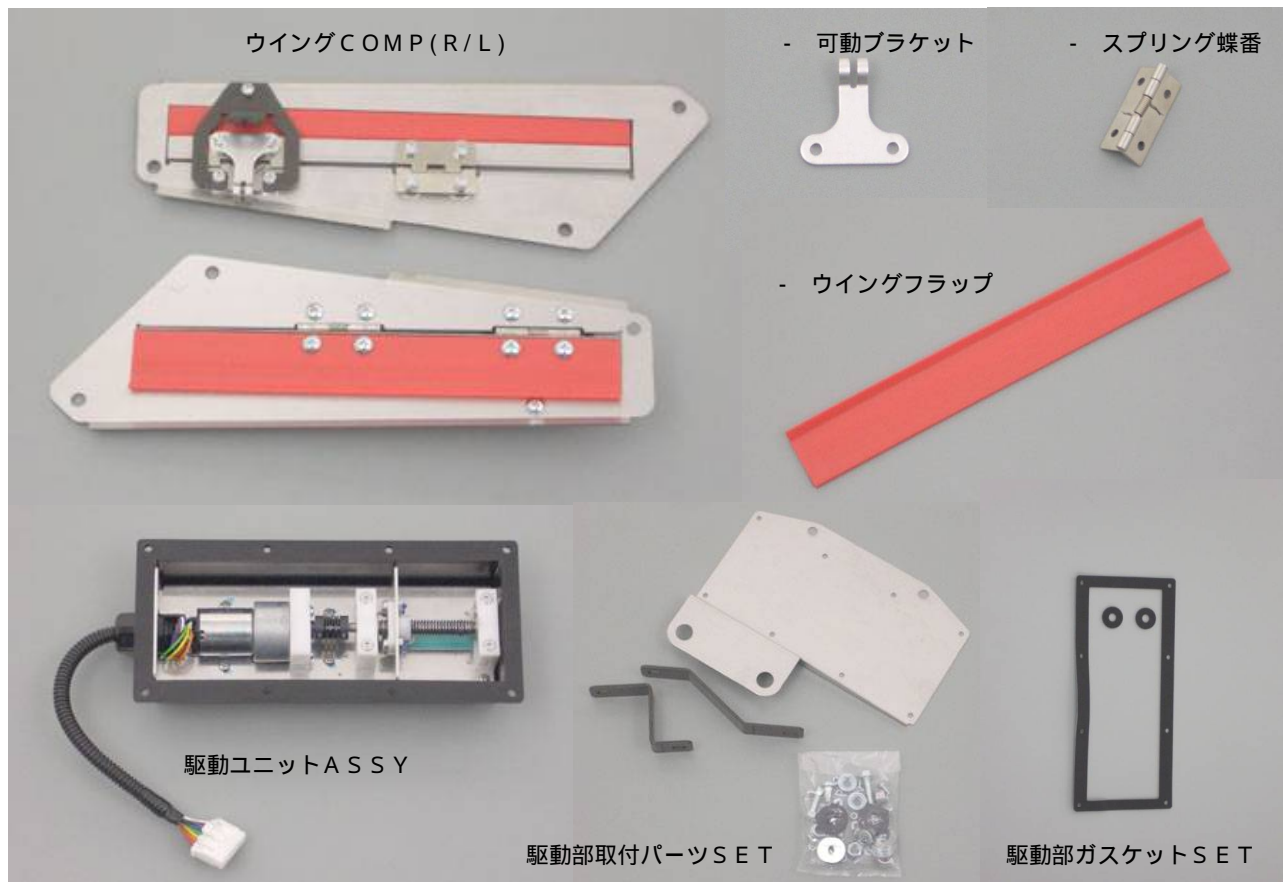
**掲載写真については、本製品と異なる場合がございます。予めご了承願います。**

# 車輛床下装着全体図



ウイング部分

駆動部分



- ・取り付けは確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等が緩まないように、規定トルクにて確実に締め付けて下さい。
- ・取り付け後、約100km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は約500km毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。

**⚠️注意** 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。

 株式会社プロト 〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島5

ディーキャスト商品についてのご質問、ご意見は、0566-36-0456までお願い致します。